

資料1

1 .地域ケア会議の連携について

2 .日野市まちづくりマスタープランとは？

…平成15年に作られた日野市まちづくりマスタープランで実現できたもの

3 .グループごとの懇談

4 .今後の工程について



生活する上での意見、市内で活動してきた方々の意見等を頂き、
各種施策に生かせるような機会にしたいと考えています

■「居場所」は、人が集まるとうまれる。

主に“物理的な空間”

居場所

主に“精神的なよりどころ”

「場所」

人が集まりやすい



つながりやすい

「場」

人と人との
心のつながり

一人ひとりがその居場所の雰囲気を作る



誰かが作り上げるものではない。

必要とする人がみんなで作り上げるもの

■「場所」には様々な種類がある

場所には年代、目的、条件 等によって
様々な特徴や使われ方がある



■「場所」には様々な種類がある

場所には年代、目的、条件 等によって
様々な特徴や使われ方がある



その方針をまとめたものが…

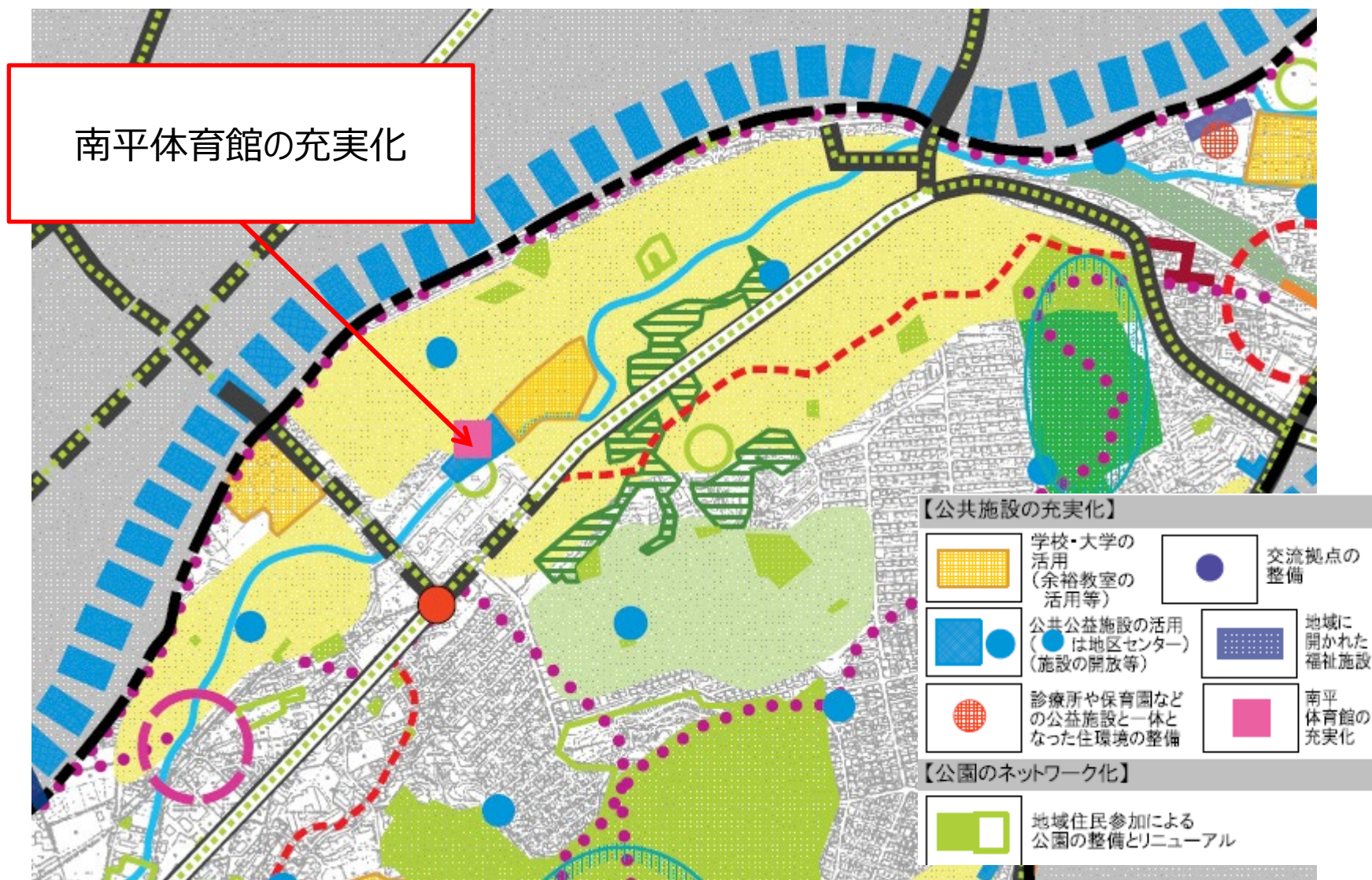
日野市まちづくりマスタープラン

※15～20年で見直し

※前回(今の)マスタープランは平成15年に作られたもの

※現在改訂作業中

■ 例えば、平成15年に作られた今のマスタープランには…



■例えば、平成15年に作られた今のマスタープランには…

■基本理念

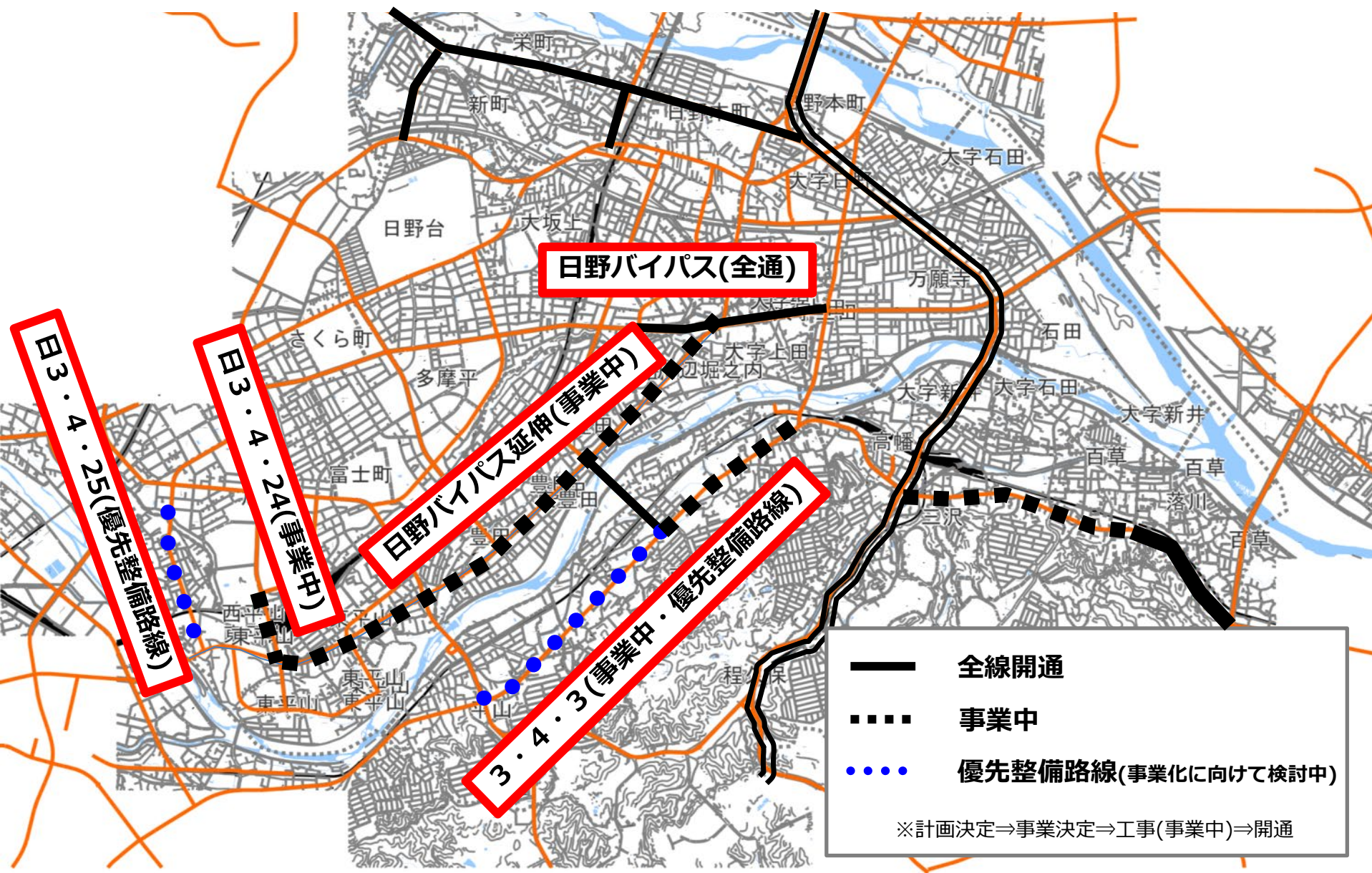
市の北部に位置する市民の森ふれあいホールとともに二大スポーツ拠点としての役割を担います。また、大規模公共施設として、地域の様々な活動場所ともなるべく、「交流」・「健康」・「防災」の3つの視点から施設計画を進めます。



日野市立南平体育館建替基本計画(平成29年1月)より

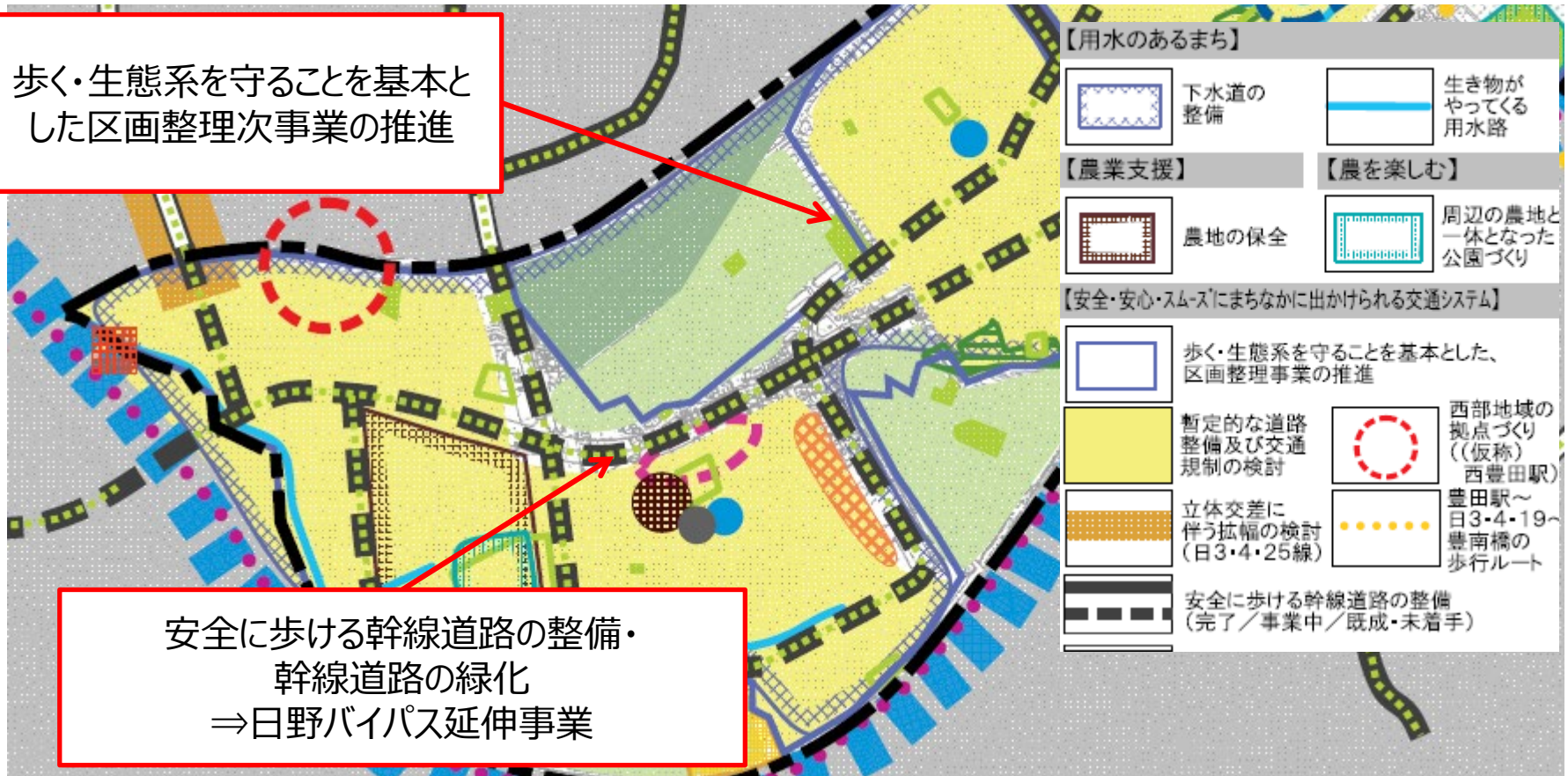
**細かいところまでは決められないが、
大まかな方針を伝えられる**

■ 例えば、平成15年に作られた今のマスタープランでは…



■例えば、平成15年に作られた今のマスタープランでは…

歩く・生態系を守ることを基本とした区画整理次事業の推進



安全に歩ける幹線道路の整備・
幹線道路の緑化
⇒日野バイパス延伸事業

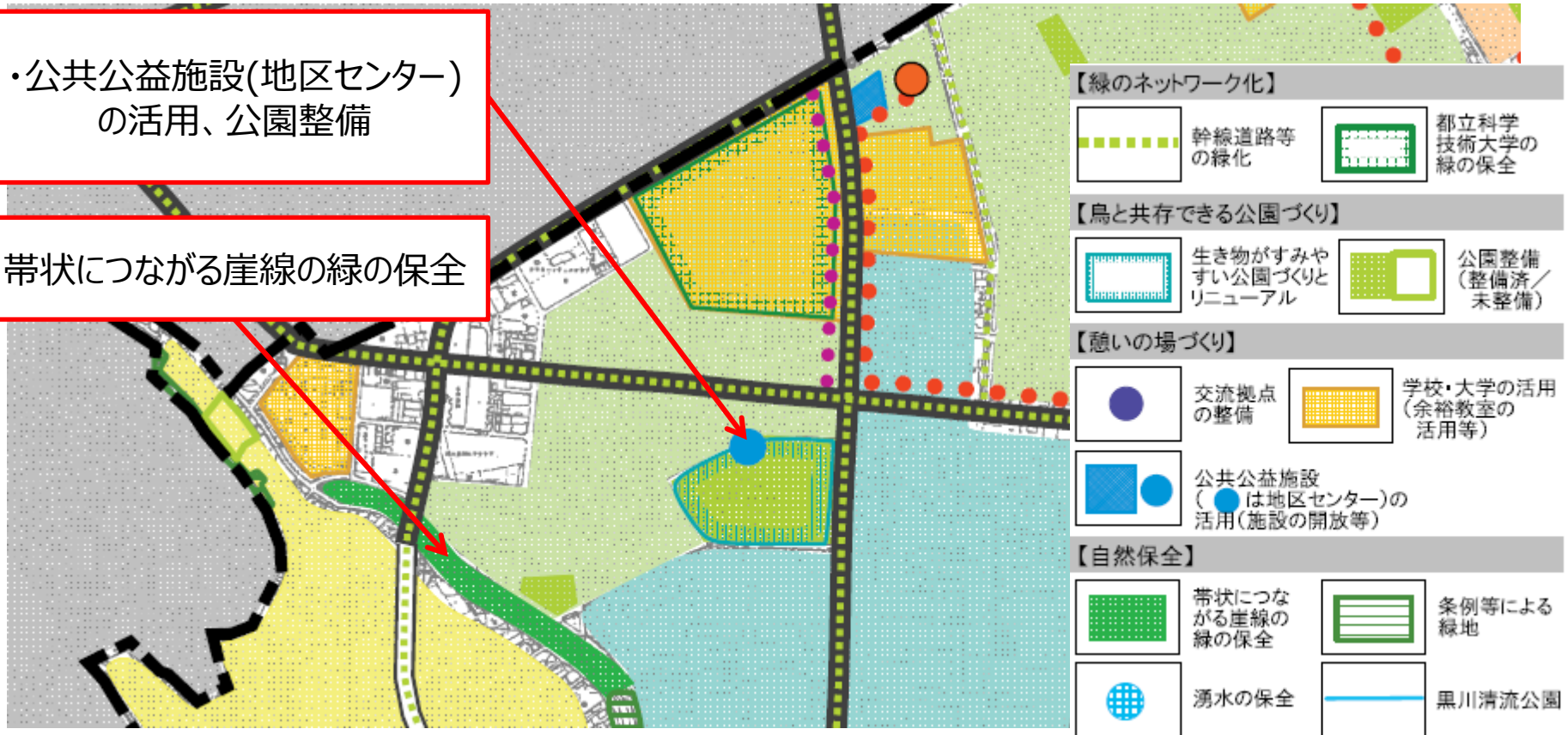
日野市まちづくりマスタープラン 第五章 地域別構想 豊田南地域より

**拠点等の整備するもの、緑や農等の
保全すべきものについても記載してある**

■ 例えば、平成15年に作られた今のマスタープランでは…

・公共公益施設(地区センター)
の活用、公園整備

帯状につながる崖線の緑の保全



日野市まちづくりマスタープラン 第五章 地域別構想 豊田北地域より

**拠点等の整備するもの、緑や農等の
保全すべきものについても記載してある**

■ マスタープランに描いておくと

- ・ 実現されるものもあるし、そうでないものもある
- ・ 確かに15、20年先を見越すことは難しい
- ・ とにかくまず描かない限り、実現されることは難しい
- ・ 「場所」(空間、地図、ハード)に影響する計画



この地域にお住まいであったり、この地域のことが良くわかっている方に実際の困りごとや気になっていることを聞きたい

少し俯瞰してみてもみる

今自分に必要なものからスタートしても良い。

でもたまには広く、俯瞰して捉えてみる。

そのための客観的なデータをお見せします。

例えば…

- ①人口(高齢者／子ども)の予測
- ②施設やバスルート
- ③防災(土砂災害、風水害、旧耐震住宅)

等

意見交換

これまでに5回のテーマ別意見交換会、各中学校区域(8つ)の地域別意見交換会を実施済み。
 10月までに地域ケア会議をはじめとした市民意見交換を行い、10月までに庁内の意見を取りまとめる
 予定。
 その後、11月にパブリックコメント、2019年1月に都市計画審議会諮問、同年3月議会議決の予定

